

長期経営ビジョン

長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」

長期経営ビジョンの実現に向け、各事業ビジョン・事業戦略を明確化した上で、バックキャストिंगで3つのステージに分け、ロードマップとしての中期経営計画を策定しています。

1st stage (2022～2024年度)にあたる第1期中期経営計画は先行投資の期間と位置づけ、5つの戦略課題と数値目標を設定しています。国内事業の持続的な安定成長を支えるべく、生産能力の増強と生産性向上(自動化・

DX化)を目的とした生産設備などへの投資、中国事業のIT基盤の構築や、製剤プラットフォームにおける中成薬事業への参入のためのM&Aに投資をします。また、漢方治療の個別化、未病の科学化等に向けた研究開発にも重点的に投資します。

そして、2nd stage (2025～2027年度)で投資した事業や設備稼働が本格化し、3rd stage (2028～2031年度)は投資の成果を利益として本格的に回収していく計画です。

長期経営ビジョン(2022～2031年度)

TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031

自然と共生するとともに、伝統医薬(漢方薬・中薬)を中心に自然と科学の力によって、一人ひとりのwell-beingをサポートできる時代の到来を迎えるために、次の3つの“P”が実現されている状態を「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」として掲げます。

PHC	PDS	PAD
Personalized Health Care 一人ひとりに合ったヘルスケア提案	Pre-symptomatic Disease and Science “未病”の科学化	Potential-Abilities Development 潜在能力開発
一人ひとりのライフステージ、症状、遺伝体質、生活環境等に合わせて、漢方薬・中薬をはじめとした製商品・サービスをエビデンスベースで提供することにより、人々のwell-beingに貢献している状態	エビデンスベースで定義された“未病”について、その診断方法と、各個人に合った未病改善システムを構築することにより、健康社会の実現に貢献している状態	“対話”によって個々の潜在能力を引き出す企業文化が醸成され、世界に手本のない漢方薬・中薬ビジネスを開拓し、誰からも信頼される“人”の集団となっている状態

TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031実現へのロードマップ

		1st stage 2022～2024年度 発芽-Germination-	2nd stage 2025～2027年度 成長-Growth-	3rd stage 2028～2031年度 開花-Flowering-
医療用漢方事業		漢方治療の標準化 漢方治療の個別化	10 処方以上処方医師 50% 以上	診療領域基本処方すべて 処方する医師 50%
研究開発		漢方治療の個別化 未病の科学化	研究	開発
中国事業	製剤PF	中成薬事業	参入	基盤構築
	生薬PF	生薬・飲片・ 大健康製品	売上拡大	ブランド確立
	研究PF	中薬研究センター	設立	機能拡充
スマートファクトリー		自動化範囲拡充	監視・管理へのシフト	スマートファクトリー実現
労働生産性	営業	1MR あたり売上高 (円 /MR)		
	生産	物的労働生産性 (箱 / 人)		
	生薬	生薬手配量あたり人件費 (円 / t)		生産性 2 倍 (2021 年度比)